

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年8月29日
事業者名:	篠田株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	温室効果ガス排出量の削減に対する取組みとして、社用車を積極的にEV化、ハイブリッド化しガソリンの使用量を削減する。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任 つかう責任	2021年度 自社の温室効果ガス排出量 (Scope1、2) を算出した結果、947.44tであることを認識し、この数値をベースとしてSBT認定を取得した。 2022年度 電気自動車10台導入。	指標	温室効果ガス排出量
				目標	2030年までに2021年の排出量947.44tから42%削減した549.52tを目指す。
社会	有給取得率に対する取組みとして、社員に対して継続的に啓蒙活動を行うとともに有給取得目標を設定し管理、推進する。	⑧働きがいも経済成長も	2022年度の有給取得率51% (前年度比+8%)	指標	正規従業員の有給取得率
				目標	2030年までに正規従業員の有給取得率70%を目指す。
経済	DXに対する取組みとして、デジタル技術を活用しペーパーレス化や業務の効率化を推進する。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑧働きがいも経済成長も	2022年度 経費支払い事務を効率化するため、経費精算システム「楽楽精算」を導入した。	指標	業務プロセスのデジタル化率
				目標	2030年までに受注契約書のデジタル化率80%を目指す。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 当社は自然エネルギーの地産地消宣言を行っております。環境に配慮した商材を積極的に取扱うとともに、組織体制強化の為、JALCA (日本アジアLCA研究所) を立ち上げ、環境負荷を定量的に評価しております。加えて、安全衛生大会を技術労働者等に対する安全や健康についての理解を深めることや意識を高めることを目的として開催し、SDGsに対する取組みも周知しております。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				